

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：湘南アイルド茅ヶ崎保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：鈴木 雅美	定員（利用人数）：80名（86名）	
所在地：〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町10番4号		
TEL：0467-84-2311	ホームページ：http://shonanild-chigasaki.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2000年9月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 湘南悠遊倶楽部		
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士 20名	調理師 2名
	栄養士 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室	

③理念・基本方針

<湘南アイルド茅ヶ崎保育園の保育方針>

- 心身ともに健康で、友達と元気に遊べる子ども
- 自分で考え、行動できる子ども
- のびのびと自己表現できる子ども
- 思いやりの気持ちを持てる子ども
- 自分の思いを伝え、仲間と協力できる子ども

<湘南アイルド茅ヶ崎保育園が大切にしていること>

- 安全・安心な環境
- 一人ひとりの育ちを大切にした保育
- 子どもが主体的に活動できる環境

④施設・事業所の特徴的な取組

【立地・概要】

●湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、JR東海道線茅ヶ崎駅北口改札から徒歩3分程度、茅ヶ崎市の中心的商業地の賑わいを持つ街中から一步入った静かな場所に位置しています。周辺は商業地でありながら、常時客が訪れるような店舗はなく、駅への通り道でもないため園舎前の道路は通行人が少なく、安心・安全な環境下にあります。園舎南側は駐車場やビルが立ち並んでいますが、園方向へのビル壁面には窓が設けられておらず、そのため園の2階・3階・4階各フロアで窓を開放しても園児等の声が比較的影響されないという地の利があります。保育園の建物は、元は湘南信用金庫の店舗であり、現在も1階部分は湘南信用金庫が使用していますが出入り口は園独自の玄関が設けられ独自性を確保しています。湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、地元の篤志家（とくしか）が出資して2000年9月に認可外保育所として開園し、その後、株式会社湘南悠遊倶楽部を設立して事業推移を行い、2014年4月に認可保育所として移行した歴史があります。現在、定員は80名（0歳児3名、1歳児12名、2歳児12名、3歳児17名、4歳児18名、5歳児18名）であり、湘南アイルド茅ヶ崎保育園では、周辺の四季折々の自然、身近に社会性を培える環境を生かしながら、子ども達の豊かな心と健康を育てています。

【湘南アイルド茅ヶ崎保育園の方針】

●湘南アイルド茅ヶ崎保育園の運営基本方針に「明るく、安全で安心できる園づくり」を掲げ、保育理念として「一人ひとりの育ちを大切に」と謳っています。さらに、保育方針に7項目を作成し、その中の一つに「まわりの大人に愛されているという安心感」という表現がありますが、湘南アイルド茅ヶ崎保育園の名称である「アイルド(Child)」は、この保育方針に沿った「愛」と「チャイルド」を合わせた根源となっています。園では、基本方針・保育理念・保育目標・保育方針に則って、明るく、安全で安心できる環境の基、子ども一人ひとりの育ちを大切にしたい保育を実践しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 4月 10日（契約日）～ 2020年 5月 13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【子どもの自主性・主体性を尊重した取り組み】

●湘南アイルド茅ヶ崎保育園では、保育理念、保育目標、保育方針を具現化した活動に取り組み、「わくわくデー」、「わくわくタイム」、「プレイタイム」を実施しています。「わくわくデー」は月2回、3歳～5歳児の活動とし、予め3つのテーマ（例えば、本年10月は「何かをつくる」・「公園で虫探し」・「宝探し」）を設定して子ども達に好きなテーマを選んでもらい、活動当日はテーマごとに集まり、子ども一人ひとりの発想や思いで自由にテーマに取り組んでいます。その日はランチもクラス別ではなく、フロアの各所に設けられたテーブルから好きな席を選び、お友達と一緒に食事を取ることができるようにしています。「わくわくタイム」では週2日、午後のおやつタイム後に3歳～5歳児で学習、図形、標識、文字等への関心・興味を引き出す環境作りを設定し、子どもが自ら学びに向かう力を育み、音楽に合わせての表現活動も行っています。「プレイタイム」については、週3日、さまざまな運動遊

びを行っています。園の目指す子ども像の一環として、「自ら考え、学び、行動できる子ども」、「のびのびと自己表現できる子ども」、「一人ひとりの個性や活動を通して、自ら学ぼうとする気持ちを引き出す」等の目標、方針に沿った活動は、誰もが理解しやすく、分かりやすい取り組みとして実践されています。

2. 【職員が安心して働ける環境作り】

●保育園で過ごす子ども達が明るく、安全で安心できる（運営基本方針）ためには、保育士をはじめ、栄養士・調理員等、全ての職員が士気高く働けていることと職員間のコミュニケーションが十分図られ、互いに協力し合い、仲良く楽しく保育に当たれる環境、職場雰囲気を整備されていることが大切です。このような観点から湘南アイルド茅ヶ崎保育園では、職員が気持ちよく働けるような制度・仕組みを整えていると言えます。勤務についてはシフト制ですが、シフトは月単位で固定されており、個々のプライベートの予定等が立てやすくなっています。その上、原則として残業がないため就業後は個人の予定を優先することが可能であり、プライベートタイムを充実させることで公私を切り替え、リフレッシュして翌日も新たな気分で仕事に取り組める等、職員の立場に立った配慮が成されています。施設面においても、職員の更衣室、休憩室にはエアコンが設備され、個人専用ロッカーを備え、貴重品の保管や更衣も安心して行うことができ、さらに保育関係の書籍が配置され、自宅で勉強したい場合は借りられるようになっています。休憩室には温もりのある木のテーブルの設置により職員が一息つける暖かみを提供し、コーヒー等も飲めるよう配慮されています。このような制度面・環境の配慮に加えて、園長は毎月、全職員と面談し、職員一人ひとりの要望や悩み等を親身になって応え、職員が気軽に何でも言える雰囲気作りに努めています。これらの効果は、職員間が仲良く、和気あいあいとした家庭的な雰囲気が醸成され、園の良い雰囲気は子ども・保護者にも伝わり、信頼関係が構築されます。子ども達は伸び伸びと遊び、かつ安心、安全に笑顔のある保育生活を過ごすことができます。

3. 【安全確保対策】

●子どもの安全確保は保育園において何よりも重要なことです。湘南アイルド茅ヶ崎保育園では、安全を確保するために職員が常に注意すべき点の確認や、突然の病変等にも全職員が共通認識の基、対応できるよう訓練を実施して研鑽を図っています。保育室の中で、場合によっては躓いたり、指をはさんだり、あるいは飛び出したりといった注意箇所がないか全てチェックを行い、全職員が常に意識できるようリスク管理を徹底しています。加えて、保育室ごとに注意箇所を写真付きで図示した用紙を壁面に掲示し、職員が常に再確認できるようにしています。また、毎月1回程度、通常の保育業務中に予告なく、突然病変を起こした場合を設定して訓練を行い、ベビー人形を用いて対応方法（判断・分担・連携・報連相・対処等）、体制及び確認を実施し、緊急時に慌てることなく、最善の対応ができるよう安全の確保につなげています。

◇改善を求められる点

1. 【保護者への伝達事項の再送信について】

●湘南アイルド茅ヶ崎保育園では、様々な媒体・手段を用いて園からの伝達事項を保護者に伝えています。具体的には、①コドモン(教育施設向けICT支援ツール)、②園のホームページ、③連絡ノート(0歳～2歳児)、④クラスだより(幼児クラスは月2回、乳児クラスは月1回)、⑤園入口付近のお知らせボード、⑥廊下等での掲示等があります。しかしながら、第三者評価の一環で行われた利用者アンケート(9月実施)結果を見ると、「不満」「どちらかといえば不満」と回答されている項目で相対的に多

いものは「園と保護者との連絡・交流」になっています。回答での保護者は、園から情報を発信した時点において多忙等により情報着信に気づかず後、直近になって知ったという経験があったとも考えられますが、現代では、保護者も電子メールに加えてSNSなど各種の情報受信媒体を利用していると思われ、多数の配信があると時には見逃してしまったり、閲覧しても忘れてしまうケースもないとは言えません。従って、園からの情報発信も、例えばコドモンで流した情報についても、2~3日後に「再送」という名称で再送信する等の工夫も望まれるところです。一考を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 湘南アイルド茅ヶ崎保育園
施設長： 鈴木 雅美

<評価に取り組んだ感想>

2日間に亘り来園評価を頂き、大変ありがとうございました。3年ぶりの第三者評価受審ということで緊張いたしました。2名の評価者が細部に心づかいを頂きましたことから、評価項目の確認もスムーズに進みました。たくさんの事業所評価に関わり、経験豊富な方たちでしたので、大所高所からご意見等も頂き、たいへん勉強になりました。

当園では、第三者評価を受審するにあたり、大切にしている項目は、保護者アンケートと要改善項目の提示であります。双方とも自分で満足していて、実は、大半の方々が不満を呈しているといったことは、多々あるように思います。そういった点をアンケート、各種評価内容から、得られればと考えていましたが、初期の目的は十分に達成できたものと思っています。ありがとうございました。

<評価後取り組んだ事として>

利用者アンケートでは、この点は不十分と感じていた項目が案の定、低いポイントとして結果に表れてしまいました。特に、保育目標・保育理念については惨憺たる結果で、十分な説明と理解、そして保育の実践に至るまで徹底していく必要を感じております。そして、全職員で自分の保育、マニュアル等を振り返ることができ、一人ひとり様々な気づきがありました。この度は、保護者が求めているものを感じることができましたので、この思いに寄り添った質の高い保育の実現に向け取り組んでまいります。

その他、施設への要望について、お褒めのお言葉を頂きました項目は、引き続き改善実施し、お叱りを頂きました項目で、直ちに改善できるものは改善を行いました。また、園で情報発信しているにも関わらず、保護者が理解していない点等があることが判明しましたので、情報発信の方法等を改善してまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり